

# 平成30年第8回定例教育委員会

平成30年8月23日(木)午後2時31分  
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長	月 田 健 二	説明員	教育部長	萬 直 樹
	委員	支 部 英 孝		教育部次長	伊 藤 忠 信
	委員	橋 本 幸 子		総務課長	近 藤 澄 人
	委員	林 大 輔		学校教育課長	廣 田 修
	委員	須 田 壽美江		給食センター長	鈴 木 知 幸
				対雁調理場長	鈴 木 正 春
				生涯学習課長	天 野 保 則
				スポーツ課長	三 浦 洋
				スポーツ課主幹	遠 藤 毅 史
				情報図書館長	山 本 則 行
				郷土資料館長	榎 田 智 幸
				郷土資料館主幹	兼 平 一 志
			欠席者	学校教育支援室長	
					谷 口 圭 吾
				教育支援課長	松 井 正 行
			記録員	総務課総務係長	嶋 中 健 一
			傍聴者	なし	

## 1 報告事項

- (1) 平成30年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について
- (2) 第2期江別市学校教育基本計画の策定に係るパブリックコメントの実施について
- (3) 第9期江別市社会教育総合計画の策定に係るパブリックコメントの実施について
- (4) 第6期江別市スポーツ推進計画の策定に係るパブリックコメントの実施について
- (5) 第3期江別市子どもの読書活動推進計画の策定に係るパブリックコメントの実施について
- (6) 平成30年度江別市一般会計補正予算の査定について

## 2 審議事項

- (1) 平成30年議案第30号  
平成31年度に使用する小学校用教科用図書の採択について
- (2) 平成30年議案第31号  
平成31年度に使用する中学校用教科用図書の採択について
- (3) 平成30年議案第32号  
平成31年度から使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について

## 3 その他

- 各課所管事項について
  - (1) 青少年キャンプ村こんがり王国の実施結果について
- 次回教育委員会予定案件について
- 平成30年第9回定例教育委員会の日程について

会 議 録

月田教育長	<p>(開会)</p> <p>ただいまから、平成30年第8回定例教育委員会を開会いたします。</p> <p>本日の議事日程は、配付のとおりであります。</p> <p>会議に先立ち、本日の会議録署名人を、支部委員にお願いいたします。</p> <p>また、本日の審議事項であります議案第30号ないし議案第32号の3件の議案につきましては、関連がありますことから、一括説明、一括質疑、一括承認を諮る形で進めてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>そのように確認いたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>1の報告事項(1)平成30年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果についての報告を求めます。</p>
近藤総務課長	<p>近藤総務課長お願いします。</p> <p>報告事項(1)平成30年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果についてご報告いたします。</p> <p>資料1ページをご覧ください。</p> <p>平成30年度の第1回学校一斉公開は、去る6月14日に実施しております。</p> <p>見学者数は、私立の立命館慶祥中学校を含む、市内の全小中学校26校において、延べ1,576人となり、昨年度同時期の見学者数1,499人から77人増加しております。</p> <p>また、アンケートの回答者数は532人で、見学者の34%に当たり、昨年度同時期の回答者数より44人減少しております。</p> <p>アンケート集計結果の概要については、資料に記載のとおりでございます。</p> <p>設問の主なものについて、昨年度同時期の回答と比較してご説明申し上げます。</p> <p>問2、今回、学校一斉公開に来られたのは何回目かという問いについては、2回目以上と回答した人の割合が、小中学校ともに増加しております。</p> <p>問3、今回、他の学校も見学する予定ですかという問いについては、複数の学校を見学する人の割合が、小中学校全体では減少しております。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>問5、機会があれば今後も学校に来たいと思いませんかとの問いについては、今後も来たいと思うと答えた人の割合が、小中学校全体で100%となっております。</p> <p>問6、学校は地域に開かれていると思いませんかとの問いでは、開かれていると思うと答えた人の割合が、小中学校全体で増加しております。</p> <p>3ページをご覧ください。</p> <p>問9の児童・生徒の様子は、大変良いと良いを合わせた割合が小中学校全体では増加しております。</p> <p>自由記載欄では、元気に挨拶をしてくれた、授業に集中しているなどの意見が多くありました。</p> <p>なお、その他の内容については、4ページから9ページに掛けまして、学校の印象、児童・生徒の様子のほか、江別市の教育等に関する意見や感想などを掲載しておりますので、こちらについてもご参照いただければと思います。</p>
月田教育長	<p>以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、学校一斉公開アンケート集計結果について、質問等がございましたらお受けします。</p>
須田委員	<p>9ページに、学校が地域に開かれているという意味が分からない、あるいは開かれているという意味を文章にしてほしいという意見が書かれています。教育委員会としては、開かれているというのは、どのようなことを考えているのでしょうか。</p>
近藤総務課長	<p>開かれている学校の認識についてですが、教育委員会では市内の全小中学校に昨年4月からコミュニティ・スクールを導入しています。コミュニティ・スクールの定義にもありますが、保護者や地域の皆さんが事業や課外活動に参加したり、ボランティアとして学習支援や見回り活動等にご協力をいただいたりしながら、地域で学校を支えていただい</p>

	<p>るものと思っています。</p> <p>学校一斉公開は、平成14年度から行っており、昨年からはコミュニティ・スクール通信を発行するなど、開かれた学校を目指して情報を発信してきております。今回、このような意見もございましたので、今後もきめ細かな情報発信等をしていきたいと考えております。</p>
<p>月田教育長 林委員</p>	<p>ほかに質問等がございますか。</p> <p>5ページに時間割に時間を記入してほしいという意見がありますが、何時から何時間目が始まるかということは、確かに分かりづらいのではないかと感じを受けています。見学者に何かを提示する機会があるのであれば、時間は入れてあげた方が親切なのではないかと思っております。</p> <p>もう一つ、7ページですが、ランドセルが子供の姿勢を悪くしているような表記があり、私はそのような認識はなかったのですけれども、何か根拠が出されているものなのでしょうか。</p>
<p>近藤総務課長</p>	<p>まず、時間割等については、先ほどの開かれた学校づくりということが学校一斉公開の趣旨でもありますので、今後は校長会等を通じて、学校の見取図や時間割なども、来ていただいた方に分かりやすいような形で提供するように進めていきたいと思っております。</p> <p>二つ目のランドセルが重すぎるという件ですが、教科書が重すぎて子供たちの体に悪影響を与えているのではないかとということが、一般に言われているところであります。かばんが重すぎることから、学校に教科書等を置いておく、置き勉という言葉があるのですが、そういうことも必要になるのではないかと意見もあります。</p> <p>この件について、今年の通常国会の中で、ある議員の質問主意書に対する答弁書が閣議決定されております。その中では、現時点では教科書の重量制限は考えていない。児童生徒の発達段階や学習上の必要性、通学上の負担などの実態を考慮し、各学校において適切な指導が行われるよう周知に努めてまいりたいという内容となっております。一方で、江別市教育委員会はどうするのかということですが、現時点では学校に対して統一的な指導はしておらず、学校によって対応はまちまちですが、学校に置いてよい学習用具を決めている学校もあるということは把握しております。</p> <p>今後については、いわゆる置き勉についても、通学時の安全への配慮という視点などを踏まえて、どのような形が良いのかを、校長会と相談するなどしながら、検討してまいりたいと考えています。</p>
<p>月田教育長 支部委員</p>	<p>ほかに質問等がございますか。</p> <p>本日の審議事項でも教科書の採択が予定されていますが、教科書が1教科当たり300グラムから450グラムになっているようです。これが1日6教科として、6冊を足した分がランドセルの重さになるのだらうと思います。機会があれば、教科書全体の大きな枠組みで考えていく必要があるだらうと私は考えています。</p>
<p>月田教育長 橋本委員</p>	<p>ほかに質問等がございますか。</p> <p>例年に比べて、大変良い印象の意見が多いように感じます。各学校でも努力していただいているのかなという印象ですが、先ほど時間割や校内図の問題もありましたが、こうした意見もまだあるようですので、全く学校のことを知らずに来る人の目線に立って、努力していただければいいのではないかと思います。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>6ページにもお年寄りに椅子を用意してほしいという趣旨の意見もありますね。学校でもいろいろな意見に耳を傾けてほしいと思っていますし、時間割に時刻も入れるというようなことも非常に大事ではないかと思っています。</p> <p>ランドセルの重さですが、昔と違って教科書のサイズがA4判になったので、かなり大きくなっています。国語や算数は上下巻で分かれています、その他の教科も分けてもいいのかなと個人的には思っていますし、道徳などは学校に置いたままにして、授業のときに子供たちが棚から持ち出すような方法でも構わないのではないかと思います。その辺りは、学校にも話をしていきたいと考えています。</p>
<p>須田委員</p>	<p>ほかに質問等がございますか。</p> <p>一つだけ伺います。8ページに、学校のボランティア活動があれば知りたいという意見があります。回覧板などでボランティアを探しているというお知らせはよく見るのですが、</p>

月田教育長	<p>学校ごとに入ってほしいボランティアというのもあると思うので、もっとそういう発信をした方がいいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(2)第2期江別市学校教育基本計画の策定に係るパブリックコメントの実施についての報告を求めます。</p>
廣田学校教育課長	<p>廣田学校教育課長お願いします。</p> <p>私から、報告事項(2)第2期江別市学校教育基本計画の策定に係るパブリックコメントの実施について、ご説明いたします。</p> <p>資料をご覧ください。</p> <p>このたび、第2期江別市学校教育基本計画の計画案がまとまりましたので、内容について市民からの意見を募集するものであります。</p> <p>2の実施概要、(1)意見の募集期間につきましては、平成30年9月3日から平成30年10月3日までを予定しています。</p> <p>資料の公表場所や提出方法等については記載のとおりです。</p> <p>3の策定までのスケジュールについてですが、本年6月から8月に掛けて、学校教育基本計画策定懇話会で計画素案の協議を行い、計画案がまとまりました。9月から10月に掛けてたゞいまして説明しておりますパブリックコメントを実施し、来年1月には計画を策定したいと考えております。</p> <p>続きまして、計画案の概要について説明いたします。</p> <p>別冊の計画案の表紙をおめくりください。</p> <p>目次になりますが、計画は、第1章計画の策定にあたってから第5章の計画の推進にあたってまでの5章により構成しております。</p> <p>次に、資料17ページをご覧ください。17ページは計画体系図になります。</p> <p>基本目標の1は、確かな学力を育成する教育の推進として、基礎・基本を重視し、確かな学力の定着を図る教育の推進など、基本方向を3項目、基本施策を全部で9項目設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>基本目標の2は、豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進として、規範意識や思いやりの心など豊かな心を育成する教育の推進など、基本方向を2項目、基本施策を全部で8項目設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>基本目標の3は、良好な教育環境の整備として、安全・安心の確保など、基本方向を2項目、基本施策を全部で3項目設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>基本目標の4は、地域とともにある学校づくりの推進として、地域とともにある学校づくりの推進など、基本方向を2項目、基本施策を全部で4項目設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>次の19ページからは、第4章施策の展開として、計画の詳細について記載しております。</p> <p>基本目標の下にある基本方向ごとに、基本的な考え方と現状と課題について記載し、基本施策ごとに主な取り組み内容を記載しております。</p> <p>次に、42ページから43ページに掛けて、第5章計画の推進にあたってとして、成果指標を掲載しております。</p> <p>パブリックコメントの結果につきましては、学校教育基本計画策定懇話会において協議の上、教育委員会にご報告する予定です。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長 支部委員	<p>ただいま報告のありました、江別市学校教育基本計画の策定に係るパブリックコメントの実施について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>8ページに児童生徒の状況ということで、私語がなく、学習規律が保たれ、落ち着いた状況で意欲的に授業に臨んでいるという記載がありますが、自分には良いところがある、将来の夢や目標を持っているなど自己肯定感が低い傾向にあるという結果が出ています。</p>

廣田学校教育課長	<p>この辺りは、この基本計画の中でどのような形で織り込まれていくのでしょうか。</p> <p>自己肯定感が低いということは、課題であると認識しております。自己肯定感がしっかりして初めて自分に確固とした自信を持つことができ、それが自立にもつながっていくものと考えております。</p>
月田教育長 橋本委員	<p>自己肯定感については、教師の関わり方も重要なのですが、やはり保護者の関わり方も重要だと認識しております。そういう意味では、学校と家庭、地域が連携していくことが重要であると考えておりますので、この5年間で取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>成果指標の中でも、自分には良いところがあると思う児童生徒の割合という形で設定しておりますので、こうした中で施策等に取り組んでまいりたいと思っております。</p>
廣田学校教育課長	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>42ページの最後に学校図書館の図書標準を達成している学校の割合という記載がありますが、図書標準というのは何のことでしょうか。</p>
橋本委員	<p>学校図書館、つまり学校の図書室のことですが、学校の学級数に応じて国が標準冊数を定めております。</p> <p>江別市でもその冊数を達成すべく毎年度図書を購入し、整備しているところですが、ここで言う図書標準を達成している学校というのは、図書標準冊数を上回る図書が揃っている学校の割合が、江別市の場合は23.1%ということです。</p> <p>計画的には、平成34年度をめどに毎年達成度を増やすような形で整備をしていきたいと考えているところです。</p>
廣田学校教育課長	<p>いわゆる蔵書率のことですね。蔵書率100%を達成した学校が、26校のうち23.1%であるということですね。</p>
月田教育長 林委員	<p>そのとおりです。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>34ページから35ページの基本目標3、良好な教育環境の整備ということで、前回の基本計画の中で、耐震化を完全にすることが達成されたわけですがけれども、第2期の計画の中で、この分野の新しい取り組みというのは、何かあるのでしょうか。</p>
近藤総務課長	<p>前期の計画については、耐震化という課題がありましたので、非構造部材の耐震化に力を入れてきました。耐震化については完了しましたので、今後は全体的に古くなっているものですから、長寿命化という観点で計画的に学校を維持管理していくというところに重きを置いております。</p>
林委員	<p>ここに出ている安全対策の推進や学びのセーフティネットは、前回の計画の中でも同じようなものがありました。施設も整ったので、子供たちのためにここに出ているものを確実にやっていくという理解でよろしいでしょうか。</p>
近藤総務課長 月田教育長 須田委員	<p>そのようにご理解いただければよろしいかと思っております。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>今のことにも関連するのですが、プールにねずみが入ってしまい、授業ができなくなったという話を聞いたことがあります。プールに関しては、施設や設備を充実させるということはお考えでしょうか。</p>
近藤総務課長	<p>プールにねずみが入った件は、学校一斉公開のアンケートの中にもあったと思います。</p> <p>確かに、新しいものに置き換えられれば一番いいのですがけれども、財政的な制約もありますので、今使っているものを大切に維持管理していくということでございます。</p> <p>ただいまのねずみの件ですが、ある学校ではいわゆるコンパネのような板をビニールハウスの下に貼って、ねずみが入ってこないようにした結果、ねずみが入って来なくなったという例もありますし、ねずみは、はっかの臭いが苦手ということで、臭いを付けたひものようなものを学校のプールの周囲に張るといったようなことも視野に入れて対応したいと考えております。</p>
萬教育部長	<p>基本目標3の教育環境の整備は、林委員からもご質問のあったハードの話と学びのセーフティネットの充実という形で理解しておりますが、ソフト的な施策についても学習環境と捉え、充実を図ろうということです。</p> <p>施設については、総務課長からもご説明しましたが、どこの学校もそれなりに老朽化が</p>

<p>月田教育長</p>	<p>進んでおり、機能の維持という点で課題がたくさんあるというのが実情です。そこを、お金を掛けずにどのように直していくかということが一つです。また、長寿命化ということで、どういう修繕改修工事がこの先に想定されるかという計画をつくることをこの項目で設けているところでございます。</p> <p>ソフト面については、就学援助の項目を増やすなど、国が言う子供の貧困へのアプローチも進めてきたところです。これから先は、基本計画の中には具体的に盛り込んでおりませんが、適切に学びの環境がどの子供にも与えられるように充実を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
<p>天野生涯学習課長</p>	<p>次に、報告事項(3)第9期江別市社会教育総合計画の策定に係るパブリックコメントの実施についての報告を求めます。</p> <p>天野生涯学習課長お願いします。</p> <p>私から、報告事項(3)第9期江別市社会教育総合計画の策定に係るパブリックコメントの実施についてご説明いたします。</p> <p>報告事項(3)の資料をご覧ください。</p> <p>このたび、第9期江別市社会教育総合計画の計画案がまとまりましたので、内容について、市民からの意見を募集するものであります。</p> <p>2の実施概要、(1)意見の募集期間につきましては、平成30年9月3日から平成30年10月3日まで実施を予定しています。</p> <p>資料の公表場所や提出方法等については記載のとおりです。</p> <p>3の策定までのスケジュールにつきましては、本年2月に社会教育委員の会議に計画の立案を諮問していたもので、社会教育委員の会議で計画案がまとめられ、9月から10月に掛けて、ただいまご説明しておりますパブリックコメントを実施し、来年1月には計画を策定したいと考えております。</p> <p>続きまして、計画案の概要について説明いたします。</p> <p>別冊資料の表紙から2枚めくりまして目次をご覧ください。計画は、第1章の計画策定にあたってから、第3章の基本目標と基本方向までの3章により構成しております。</p> <p>次に資料11ページをご覧ください。</p> <p>11ページは計画体系図になります。基本目標のⅠは、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりとして、家庭や地域での教育や子供の安全・安心な生活環境の整備などについて、基本方向を4項目、施策項目を全部で6項目設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>基本目標のⅡは、学びを支える生涯学習の推進として、生涯学習の環境づくりと支援などについて、基本方向を3項目、施策項目を全部で6項目設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>基本目標のⅢは、地域で育まれた多様な文化の再発見と創造として、文化・芸術活動への支援や機会の提供などについて、基本方向を3項目、施策項目を全部で5項目設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>次の12ページから第3章、基本目標と基本方向として、計画の詳細について記載しております。</p> <p>基本目標Ⅰについては12ページから20ページまで、基本目標Ⅱについては21ページから26ページまで、基本目標Ⅲについては27ページから31ページに掲載しました。それぞれ、基本目標ごとに概要を記載し、基本方向ごとに現状と課題、成果指標を記載しております。</p> <p>さらに、基本方向の内訳として、施策項目ごとに、施策の概要と主な取り組みを記載しており、計画的に進めることで目標の達成を目指します。</p> <p>パブリックコメントの結果につきましては、社会教育委員の会議において協議の上、教育委員会にご報告する予定です。</p> <p>以上です。</p>

月田教育長	<p>ただいま報告のありました、江別市社会教育総合計画の策定に係るパブリックコメントの実施について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>私から一つ伺います。</p> <p>第8期計画との違いは、どのような点にあるのでしょうか。14ページ、15ページなどは、表がたくさん使われていて見やすいと感じるのですが。</p>
天野生涯学習課長	<p>見やすさの点は、社会教育委員の会議においても議論しておりまして、これまで使われていなかったグラフを用いるなど、データに基づいた形での情報提供に努めているところ</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
三浦スポーツ課長	<p>次に、報告事項(4)第6期江別市スポーツ推進計画の策定に係るパブリックコメントの実施についての報告を求めます。</p> <p>三浦スポーツ課長お願いします。</p> <p>私から、報告事項(4)第6期江別市スポーツ推進計画の策定に係るパブリックコメントの実施についてご説明いたします。</p> <p>報告事項(4)の資料をご覧ください。</p> <p>このたび、第6期江別市スポーツ推進計画の計画案がまとまりましたので、内容について、市民からの意見を募集するものであります。</p> <p>2の実施概要、(1)意見の募集期間につきましては、平成30年9月3日から平成30年10月3日まで実施を予定しています。</p> <p>資料の公表場所や提出方法等については記載のとおりです。</p> <p>3の策定までのスケジュールにつきましては、本年2月にスポーツ推進審議会に対して計画策定について諮問していたもので、スポーツ推進審議会において、計画案について協議を重ね、9月から10月に掛けて、ただいまご説明しておりますパブリックコメントを実施し、来年1月には計画を策定したいと考えております。</p> <p>続きまして、計画案の概要について説明いたします。</p> <p>別冊資料1ページをご覧ください。</p> <p>目次ですが、計画は第1章計画の策定にあたってから、第3章基本目標と基本方向までの3章により構成しております。</p> <p>次に資料13ページをご覧ください。13ページは計画体系図になります。</p> <p>基本目標のⅠは、生涯スポーツの推進として、生涯各期におけるスポーツをする機会の提供、各領域におけるスポーツ活動の充実などについて、基本方向を2項目、施策項目を9項目設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>基本目標のⅡは、地域スポーツ活動の推進として、地域スポーツ活動の活性化促進や、スポーツ・健康づくりの情報提供などについて、基本方向を4項目、施策項目を全部で10項目設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>基本目標のⅢは、スポーツ環境の整備・充実として、スポーツ施設の計画的な整備や適正な管理運営について、基本方向を2項目、施策項目を全部で4項目設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>次の16ページから第3章の基本目標と基本方向として、計画の詳細について記載しております。</p> <p>基本目標Ⅰについては16ページから24ページまで、基本目標Ⅱについては25ページから34ページまで、基本目標Ⅲについては35ページから36ページに掲載しました。それぞれ、基本目標に続き、基本方向、施策項目を記載しております。さらに、施策項目ごとに、施策推進の視点・課題と施策推進の方向と概要、主な取り組みを記載しており、計画的に進めることで目標の達成を目指します。</p> <p>パブリックコメントの結果につきましては、スポーツ推進審議会において協議した上で、教育委員会にご報告する予定です。</p> <p>以上です。</p>

月田教育長	ただいま報告のありました、江別市スポーツ推進計画の策定に係るパブリックコメントの実施について、質問等がございましたらお受けします。
橋本委員	31ページに総合型地域スポーツクラブの支援ということが書かれていますが、どのようなことを言っていて、どのような支援を行うのでしょうか。
三浦スポーツ課長	総合型地域スポーツクラブとは、幅広い世代の方々に様々なスポーツを提供する地域スポーツの拠点としての役割を担うものですが、少子高齢化により会員数の減少という事情もあり、自立した運営が厳しい状況になっております。 市内には三つの総合型地域スポーツクラブがありまして、一つは文京台の一般社団法人わくわくピース総合型クラブ、もう一つは同じく文京台の北翔大学スポルクラブ、三つ目は東野幌本町のNPO法人E-KID'Sです。実際の支援としては、それぞれのスポーツクラブがどのような活動をしているのかを市の広報誌やホームページに掲載して、少しでも会員数が増えるよう協力しています。
橋本委員	また、子供のスポーツについては、スポーツ少年団や部活動以外でスポーツをする機会がなかなかないものですから、そうした子供に対する受け皿としての役割を、今後、総合型地域スポーツクラブが担っていければいいと考えています。
三浦スポーツ課長	民間で運営しているスポーツクラブなのでしょうか。
須田委員	おっしゃるとおり、民間で運営しているスポーツクラブです。
三浦スポーツ課長	総合型地域スポーツクラブは、上江別地区にもあったのですが、なかなか会員数が伸びず、資金面を賄うこともできなかったことから解散してしまいました。今ある総合型地域スポーツクラブは、そういった資金面や講師確保などの面を含め、うまく運営できているのでしょうか。
須田委員	三つのクラブについては、現状では経営は順調と伺っています。
三浦スポーツ課長	もう一つ伺います。 会員数はどのぐらいいて、何種類ぐらいのスポーツを展開しているのでしょうか。
須田委員	申し訳ありません。会員数については、手元に資料がございませんので、お答えできないのですが、種目数について、文京台のわくわくピースでは、子供から大人まで楽しめる種目として、5種目か6種目ぐらい設定しているところ です。
三浦スポーツ課長	上江別のクラブがあったときに、会員数や資金面でいろいろあって、教育委員会でもいろいろと支援していただいたようなのですが、結局、運営がうまくいかず駄目になってしまったという経緯もありまして、なかなか自分たちで運営していくというのは、江別市ではなかなか根付かないのかなと感じました。
須田委員	いろいろなスポーツ少年団や地域のスポーツクラブとかに入っている子供も結構いて、総合型地域スポーツクラブというものを根付かせるのはなかなか難しいのではないかと感じていたのですが、その点で、将来的にはどのようにお考えでしょうか。
三浦スポーツ課長	わくわくピースは、実施している種目の中でラグビーという小学生向きの種目があるのですが、少年団としても実施しているものですが、今年度はラグビーの普及啓発ということで、学校の体育の授業に取り組むような形で進めています。こうした取り組みなどを通して、少しでも会員数が増えて、運営が安定すればいいと考えています。
萬教育部長	総合型地域スポーツクラブは民間のクラブではございますが、NPO法人として法人格を取得したり、国やさまざまな団体からの補助金を受けたり、会員を一定程度確保する中で、会費を財源としたりしながら、各々が民間ベースでの活動を行っているものと認識しております。また、そのうち幾つかは、後ろ盾となる組織もありまして、そうした団体からの支援を受けながら活動していると考えております。
月田教育長	教育委員会としての支援ですが、民間への支援ということになりますので、補助金を出すという方法は難しいところもありますが、情報発信や広報のお手伝いというような支援の中で、連携を図っていきながら市民スポーツの充実に努めていきたいと考えています。
橋本委員	ほかに質問等はございますか。 学校開放のように学校の施設を使うということもあるのでしょうか。それとも、各団体独自で体育館などを持っているのでしょうか



三浦スポーツ課長	<p>北翔大学スポルクラブについては、大学の施設を利用しています。わくわくピースについては学校開放を利用しております。東野幌本町のE-KID'Sについては、民間の商業施設の一角を使ってダンス教室等を開催しております。</p>
月田教育長 林委員	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>25ページと26ページにある地域スポーツ活動の推進ということで、特に、26ページの施策項目(2)地域スポーツを「ささえる」人材の育成・支援ですが、少年団スポーツを含めて見ていると、どうしても地域の民間の方に頼ってクラブ運営をされているケースが多いと思います。そのような方を支える仕組みは必要ではないかと思ひますし、昨今、スポーツ界でいろいろと問題が出ておりますので、主な取り組みの中にも書かれている若手指導者の発掘や指導者等の技術力向上など、いろいろな意味での各種研修会の開催は必要なのではないかと考えています。</p> <p>充実を図るということですが、どのような内容が行われていて、また、これから行われる予定なのでしょうか。</p>
三浦スポーツ課長	<p>指導者の育成や発掘については、現段階では江別市体育協会と一般財団法人江別市スポーツ振興財団とで協力しながら、技術指導やコンディショニングを整えるようなスポーツに関する研修会を開催しております。こうした中で、指導者育成をしていくことができればと考えております。</p> <p>今後の取り組みについては、やはり指導者の確保ということでは、高齢化も進んでおりますので、今後の大きな課題と考えているところですので、江別市体育協会やスポーツ振興財団とも協力しながら、指導者リストのようなものを作成するなどして、部活動も含めて支援をすることができればと考えております。</p>
林委員	<p>どうしても昔ながらの指導になりがちなので、関連団体とも協力しながら情報提供なども進めていただければと思います。</p>
月田教育長 須田委員	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>33ページの江別市独自のエクササイズエーリズムですが、音楽を掛けながらやると結構長くて、1番、2番、3番とずっと踊ると、すごく疲れます。お年寄りには座って踊ってもいいということなのですが、それでも結構動きます。これはこれでいいのですが、お年寄りから子供まで誰でもできるような分かりやすいストレッチなり体操なりがあるかと思っていますが、その点はいかがでしょう。</p>
三浦スポーツ課長	<p>現時点で新しい体操をつくることは考えておりませんが、エーリズムを担当している保健センターとも協議しながら、どういった体操の取り組みができるかを検討したいと思ひます。</p>
須田委員	<p>もしできるのであれば、なるべく簡単に短いものの方がいいと思います。そういうものを全市に広げて、市民みんなであればいいのだろうなと思っています。</p>
月田教育長	<p>よろしくお願ひします。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
山本情報図書館長	<p>次に、報告事項(5)第3期江別市子どもの読書活動推進計画の策定に係るパブリックコメントの実施についての報告を求めます。</p> <p>山本情報図書館長お願ひします。</p> <p>私から、報告事項(5)第3期江別市子どもの読書活動推進計画の策定に係るパブリックコメントの実施についてご説明いたします。</p> <p>報告事項(5)の資料をご覧ください。</p> <p>このたび、第3期江別市子どもの読書活動推進計画の計画案がまとまりましたので、内容について、市民から意見を募集するものであります。</p> <p>2の実施概要、(1)意見の募集期間につきましては、平成30年9月3日から平成30年10月3日まで実施を予定しています。</p> <p>資料の公表場所や提出方法等については記載のとおりです。</p> <p>3の策定までのスケジュールにつきましては、本年6月から7月に掛けて、子どもの読</p>

	<p>書活動推進計画策定懇話会で計画素案の協議を行い、計画案がまとまりました。9月から10月に掛けて、ただいまご説明しておりますパブリックコメントを実施し、来年1月には計画を策定したいと考えております。</p> <p>続きまして、計画案の概要についてご説明いたします。</p> <p>別冊資料の表紙をめくっていただき、目次をご覧ください。計画は、第1章の計画の策定にあたってから第4章の計画の推進にあたってまでの4章により構成しております。</p> <p>次に11ページをご覧ください。</p> <p>11ページから、第3章 子どもの読書活動推進のための取り組みとして、第3期計画における取り組み内容を記載しています。</p> <p>11ページは計画体系図になります。</p> <p>基本目標の1は、家庭、地域、学校を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進として、家庭、地域、学校等における推進方を三つ設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>基本目標の2は、子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備として、地域、学校図書館等における推進方を二つ設定して取り組みを進めていきます。</p> <p>次の12ページから、基本目標の推進方策ごとに、推進の方向性、推進に向けた取り組みを記載しています。</p> <p>基本目標1については12ページから14ページに、基本目標2については15ページ、16ページに、それぞれ推進方策ごとに、推進の方向性、推進に向けた取り組みを記載しています。</p> <p>次の17ページから19ページまでは、第4章計画の推進にあたってとして、計画の点検・評価と、計画の指標について記載しています。計画の成果や推進状況を表す指標を基本目標ごとに設定し、計画的に取り組みを進めることで目標の達成を目指します。</p> <p>パブリックコメントの結果につきましては、子どもの読書活動推進計画策定懇話会において協議した上で教育委員会にご報告する予定です。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました、江別市子どもの読書活動推進計画の策定に係るパブリックコメントの実施について、質問等がございましたらお受けします。</p>
須田委員	<p>情報図書館から学校を巡回する司書は、3名の方が回っていらっしゃるんですよね。1年に2校ずつで、半年に1回ずつ交代していると思います。3人なので、各学校に回ってくるのが3年から4年に1回ぐらいの割合になりますが、司書をもう少し増やすという計画はないのでしょうか。</p>
山本情報図書館長	<p>現在、学校を巡回する司書を情報図書館に3名配置しまして、前期と後期に分けて年6校ずつということで巡回しています。司書の増員についてですが、今のところは予定はございません。なかなか希望する学校全てに司書を配置することはできないことから、巡回の対象とならない学校には、短期的な学校図書館の整備支援をするため、昨年からのピンポイント支援というものを行っております。支援司書というものが1人おりまして、他の3人の巡回司書の支援をしながら、学校図書館のピンポイントの整備も進めている状況でございます。</p>
須田委員	<p>図書館に司書さんが入ると、すごく図書館が綺麗になって本の整備もすごく良くなるのですが、同じ司書さんが何年後かに同じ学校に行くような方法なのでしょうか。それとも、順番で違う司書さんが行く形になるのでしょうか。</p>
山本情報図書館長	<p>毎年、司書巡回の希望を各学校から聞いております。</p> <p>その中で、前回や前々回に行ったところではないところを優先して司書が巡回する学校を選定していますので、以前と同じ司書が同じ学校に行くこともあるかもしれませんが、必ずしも、固定的に司書を配置することは考えておりませんので、他の学校に行くことも考えられます。</p>
須田委員 山本情報図書館長	<p>確か、情報図書館に来てほしいという要望書を出すことになっていましたよね、全小中学校に対して、学校の計画が決まる前に来年度の希望を聞き取るようにしています。学校の方から、調査票により希望を出していただいて、全体的な状況に合わせて調整していくということになります。</p>
須田委員	<p>単に順番で回しているということではないのですね。</p>

山本情報図書館長 月田教育長 橋本委員	<p>各学校の希望を基に行っております。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>16ページの推進に向けた取り組みの記載の中で、自主的・主体的な学びを支援し、豊かな心と感性を育む図書や資料の充実による蔵書率の向上という項目があります。2日前に岩見沢市で北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会があり、その分散会でいろいろな方からお話を伺ってきたのですが、やはり、率にこだわって、蔵書率を上げることばかりに目を向けるのではなく、情報化社会ですから、古くなった図鑑など、使えなくなっている蔵書もたくさんあるという話が出ました。</p> <p>本当に豊かな心と感性を育む図書や資料の充実という意味での蔵書率の向上ということに努力していただきたいと思っています。少し古くなった資料は整理して、本当に必要なものを置くようにすると、一時的に数字が下がるかもしれませんが、こうした形で各学校でもご努力いただきたいということで、各市からも話題に上っておりますのでよろしく願いいたします。</p>
山本情報図書館長 月田教育長 山本情報図書館長	<p>図書の標準冊数を満たすべく図書を整備していくのですが、その一方で、今ある図書の整理については、古いものも新しいものもあります。それをうまく活用できるような整備の仕方という形で、新たに学校に配置する図書の整備とは別に、これまでも支援司書と学校の担当とで今ある図書の整理で困っていることなどを相談しながら学校図書館の整備をしてきていますので、今後も同じような形で進めてまいりたいと思います。</p> <p>今のお話ですが、かなり古い図書は廃棄していますよね。</p> <p>廃棄する図書も、どれを廃棄するのかを相談しながら廃棄していますので、学校によっては、使っていないような図書もあるかもしれません。そういったものも随時整理していきたいと考えています。</p>
廣田学校教育課長	<p>学校図書館について補足しますが、廃棄図書については傷みの激しいものや委員ご指摘の内容が古いものを廃棄しております。そのほか、更新ということで新しい本を買っていますが、情報図書館から巡回司書が派遣されておりますので、この学校は調べ学習で使う自然科学の分野が少ないので分野ごとの補充が必要などといった意見もいただきながら補充しているところです。</p>
月田教育長	<p>先日の北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会でのお話ですが、他市の教育委員会委員の皆さんの話では、共働きが増えたことで、昔と違ってお母さんが本を読んであげる時間が少なくなっているということでした。幼児期の読書量と言いますか、読み聞かせの量が少ないのではないかという話が出ておりました。その辺りを情報図書館や幼稚園、保育園などで補っていかなければならないのかなと思いました。</p>
須田委員	<p>今の件にも関わりますが、江別市内の学校では朝読書を行っている学校がほとんどだと思います。岩見沢市で行われた定期総会で、学力を向上させるために、朝読書をやめて学習の時間に充てる学校も増えてきているとの話を聞いてきました。なるべく朝読書の時間を減らさず、子供たちに読書の時間をつくってほしいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
廣田学校教育課長	<p>江別市では朝読書が盛んでして、野幌小学校がバス通学をしている関係で、どうしても時間を確保できないのですが、それ以外の学校では取り組まれております。読書をするとは、読解力や判断力といった学力にも結び付くと考えておりますので、江別市でも重要視しているところであります。</p> <p>今回の計画の中でも、朝読書推進は掲げておりますので、今後もこういった取り組みは進めてまいりたいと考えております。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(6)平成30年度江別市一般会計補正予算の査定についての報告を求めます。</p> <p>近藤総務課長お願いします。</p>

<p>近藤総務課長</p>	<p>報告事項（６）平成３０年度江別市一般会計補正予算の査定につきましてご報告いたします。資料はございません。</p> <p>第７回定例教育委員会におきまして、第３回市議会定例会に提出を予定しております補正予算のうち、教育委員会所管分につきまして、財政部局の査定前の段階でご説明させていただいたところであります。</p> <p>この補正予算につきましては、過日、財政部局から査定結果の通知を受けまして、査定による金額の変更はございませんでした。</p> <p>今後は、９月６日からの第３回市議会定例会で審議の上、可決されることにより補正予算として確定いたします。</p> <p>以上です。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>ただいま報告のありました、平成３０年度江別市一般会計補正予算の査定について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>（一同了承）</p> <p>続いて、２の審議事項に入ります。</p> <p>審議事項（１）平成３０年議案第３０号 平成３１年度に使用する小学校用教科用図書の採択について、（２）平成３０年議案第３１号 平成３１年度に使用する中学校用教科用図書の採択について及び（３）平成３０年議案第３２号 平成３１年度から使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について、以上３件について一括説明を求めます。</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>廣田学校教育課長お願いします。</p> <p>議案第３０号から議案第３２号まで、一括してご説明いたします。</p> <p>まず、議案第３０号 平成３１年度に使用する小学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。</p> <p>教科用図書の採択につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第１４条及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第１５条の規定により、採択した教科用図書の発行が行われななど特別な場合を除き、４年間、毎年度種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされております。</p> <p>資料の１ページをご覧ください。</p> <p>平成３１年度に使用する小学校用教科用図書のうち、「特別の教科 道徳」以外の教科については、平成３０年８月２日に開催された第３回第１地区教科用図書採択教育委員会協議会において、教科用図書の採択協議並びに決定が行われたところであります。平成２９年度教科書検定において、新たに検定を受けた教科書がないため、現在使用しております平成２６年に採択したのと同じ教科用図書を採択しようとするものです。協議会において選定された教科用図書につきましては、２ページの平成３１年度に使用する小学校用教科用図書採択一覧に記載のとおりです。</p> <p>なお、小学校用教科用図書の選定理由については、３ページから１３ページにあります平成３１年度に使用する小学校用教科用図書の採択教科書名及び採択理由等についてのとおりでございます。</p> <p>また、「特別の教科 道徳」については、平成２９年第８回定例教育委員会における採択の際に、選定理由書の内容を確認し決定していることから、平成３１年度に使用する小学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書につきましては、平成２９年に採択したのと同じ教科用図書を採択しようとするものです。既に採択された教科用図書は、２ページの平成３０年度から使用する小学校用「特別の教科 道徳の教科用図書採択一覧」に記載のとおりです。</p> <p>次に、議案第３１号 平成３１年度に使用する中学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。</p> <p>資料の１ページをご覧ください。</p> <p>平成３１年度から新たに教科化される「特別の教科 道徳」以外の教科については、平成２７年第８回定例教育委員会における採択の際に、選定理由書の内容を確認し決定して</p>

<p>月田教育長</p> <p>橋本委員</p> <p>廣田学校教育課長</p>	<p>いることから、平成31年度に使用する中学校用教科用図書につきましては、平成27年に採択したものと同一教科用図書を採択しようとするものです。既に採択された教科用図書は、2ページの平成28年度から使用する中学校用教科用図書採択一覧に記載のとおりです。</p> <p>次に、「特別の教科 道徳」については、平成29年度において、文部科学省が教科用図書の検定を行ったことから、平成31年度から使用する教科用図書を、石狩管内の7市町村で構成する第1地区教科用図書採択教育委員会協議会で共同採択されたことを受け、江別市教育委員会として教科用図書の採択についての承認を求めます。</p> <p>3ページをご覧ください。</p> <p>平成30年度第1地区教科用図書採択日程についてですが、今年度は、5月14日に第1回第1地区教科用図書採択教育委員会協議会が開催され、教科用図書の専門的な調査研究を行うための調査研究委員会の設置、調査研究委員候補の推薦等について協議されています。</p> <p>6月5日に開催されました第2回の協議会では、調査研究委員の決定や公表する関係書類等について協議されています。この調査研究委員会は、学識経験者、学校関係者、保護者から組織された総数7名の委員で構成され、江別市からは、学校関係者1名が調査研究委員として委嘱されています。</p> <p>6月15日から7月4日までの実質14日間、教科書展示会を江別市教育庁舎及び江別市情報図書館にて実施しております。この間の来場者数は、教育庁舎には18人、情報図書館40人、合計58人となっており、29件の意見が寄せられています。寄せられた意見は、協議会に反映し全体で共有されており、採択協議の際の参考にされています。</p> <p>6月29日には、北海道教育委員会から採択参考資料の通知があり、協議会を通じて調査研究委員会に資料提供があったものであります。</p> <p>8月2日の第3回の協議会では、平成31年度から使用する中学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択協議並びに決定が行われたところであります。</p> <p>その結果について、8月14日に協議会から江別市教育委員会に通知がありました。この協議会において採択が決定した教科書につきましては、2ページにあります平成31年度から使用する中学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書採択一覧に記載のとおりです。</p> <p>なお、「特別の教科 道徳」の教科用図書の選定理由については、4ページにあります平成31年度から使用する中学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書の選定教科書名及び選定理由等についてのとおりでございます。</p> <p>次に、議案第32号 平成31年度から使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択についてご説明いたします。</p> <p>小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、学校教育法附則第9条により、文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書以外の図書を使用することができることとされていることから、別冊にあります北海道教育委員会が作成した、平成31年度使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料に登載されている324点の一般図書を加えて採択しようとするものです。</p> <p>なお、この一般図書につきましては、北海道教育委員会から示された参考資料について、第1地区教科用図書採択教育委員会協議会が調査研究を行い、協議の結果、教科書としての使用を承認したことについて、各市町村教育委員会に対して通知があったものです。</p> <p>以上、3件の議案についてご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>ただいま説明のありました3件の議案に対する質問等がございましたら、一括してお受けいたします。</p> <p>特別支援学級では、この324点の中から個人に合ったものを選ぶということかと思いますが、どのぐらいの数が実際に教科書として使用されているのでしょうか。</p> <p>具体的に何冊使っているかという資料は手元にはありませんが、この324点は教科書に替えて使用するものということで、それぞれの児童生徒の状況に応じて、通常学級で使用している教科書を使うか、若しくはこの参考図書を選んで使うかということになります。</p>
--	--

橋本委員	小中学校は義務教育ですので、教科書は無償ですよね。参考図書を使う場合も無償なの でしょうか。
廣田学校教育 課長	参考資料は教科書の代わりになるものということで、教科書が無償ですので、こちらも 無償となります。教科書か参考資料のいずれかを使うこととなります。
橋本委員	1冊と1冊を交換するのではなく、そのお子さんに合ったものを選ぶということでは うか。
廣田学校教育 課長	例えば、小学校3年生の国語の教科書があるとして、特別支援学級の3年生のお子さん が、3年生の国語の教科書を使うこともありますし、教科書を使わずに、この参考図書の中 から教科書の代わりに使うという場合は、無償で提供される形になります。
支部委員	ただいまの説明について確認です。 資料の2ページに、採択参考資料について記載があります。3番目の項目に、障がいの 種類として5種類挙げられています。さらに、4番目にA、B、Cと区分されていますが、 児童生徒の状況を確認した上で、教科書を使うか参考図書を使うかということが選択され るという解釈でよろしいでしょうか。
廣田学校教育 課長	実際は、各学校に教科書と参考図書のいずれを使うかを照会しております。その中で、 こちらの参考図書を使用する場合は、教育委員会に申請が出てくるという形になります。
月田教育長	ほかに質問等はございますか。 (質疑終了) それでは、平成30年議案第30号ないし議案第32号を承認することにご異議ありま せんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 続いて、3のその他、各課所管事項についてに入ります。 (1) 青少年キャンプ村こがり王国の実施結果についての説明を求めます。 天野生涯学習課長お願いします。 青少年キャンプ村こがり王国の実施結果についてお知らせいたします。 資料をご覧ください。
天野生涯学習 課長	1の参加者数ですが、8月6日から8月11日まで開催しましたこがり王国の最終的 な参加者は、374人でした。なお、期間中の参加者数の内訳は表に記載のとおりであり ます。 2の場所、3の参加対象、4の主な事業内容については、記載のとおりであります が、期間中4日目、5日目は雨に当たったものの、それ以外は天候に恵まれ、子供たちはテ ントの設営、撤収、炊事をこなし、キャンプファイヤーやゲームなどで盛り上がりおしま した。 また、5の50周年記念事業の内容につきましては、記載のとおりであります。 以上です。
月田教育長	本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは次に、次回教育委員会予定案件及び日程について説明願います。 近藤総務課長お願いします。
近藤総務課長	次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、平成30年第3回江別市議 会定例会の一般質問について、平成30年度小中学生国内交流研修事業についてなどを予 定しております。
月田教育長	また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、9月26日水曜日午前10時から と考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。 ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は9月26日水曜日午前10時から ということで、皆様よろしいですか。 (一同了承) 以上をもちまして、第8回定例教育委員会を終了いたします。 (閉会)

終了 午後4時01分

署名人（教育長） 月 田 健 二

署 名 人 支 部 英 孝